

部長会議

日時：令和4年5月20日（金）

午前9時～

場所：市役所4階 庁議室

1 市長の話

- 1点目。様々な要因から、各部署で仕事が回らない、職員に疲れが出てきている状況がある。職員課、総合政策部、総務部等と連携して、早めの対応を心がけていただきたい。10月の職員募集には多くの応募があったので、良い人材を獲得して、現場を応援できる体制をつくっていききたい。
- 2点目、緊急経済対策について。昨今のコロナ禍、ウクライナ情勢による原油価格・物価高騰は非常に厳しい状況である。こども未来部や福祉部では、新たな給付金に向けて取り組みを実施する。それぞれ担当の部で頑張らなければならないが、全庁的にも協力いただきたい。ワクチン接種も4回目が見えてきたため、引き続き全庁的に取り組んで乗り越えていきたい。困っているところ、重点的に取り組む必要があるところを応援していくということで、みんなで乗り越えていきたい。経済対策はまだ、まとまっていないが、原油高で苦しんでいる事業者や市民をどう支えるかが、ひとつの大きな課題。日々の業務の中で影響を受けている部分について、市長まで伝えてほしい。

2 事業進捗状況確認の報告について

各部の報告内容については下記ページに保存のプロセスシートを確認ください。

(<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/shiseijoho/1008858/zaisei/1015279.html>)

3 通知及びお知らせ

(1) 令和4年第2回 川西市議会(定例会)提出議案一覧について (総務部)

- 全26件の議題があり、5月26日の議会運営委員会で説明を予定しています。
- 「住民税非課税世帯に係る臨時特別給付金」「子育て世帯の生活支援特別給付金」については専決処分とし、翌日付で対応する予定としています。
- ペーパーレス化の推進に関して、6月議会より議場にパソコンを持ち込むことが可能となります。まだ試行段階のため基本的にはこれまでどおり書面の持ち込みも可とさせていただきます。なお、委員会でもパソコンの持ち込みを可能としたいと思っています。

【市長】各部によって作成する資料の形式が違う状況がある。ペーパーレス化に合わせ、資料の形式統一を検討してほしい。

(2) 令和4年度内部統制の取り組みについて（総務部）

- これまでは、重大な対応が必要なものを対象としていましたが、今後は庁内で起こった事務的なミスも含め、各部が情報共有をしておいた方がよいと判断された項目について、随時報告を上げていただくようにしたいと考えています。今後、総務課より報告書様式を提供します。報告は、総務課の方で取りまとめ、ガルーンのスペースで各課長級以上に情報共有したいと考えています。

【市長】内部統制の事務を進めていくうえで一番大切なのは、責任追求のためではなく再発防止のためにやるのだということ。ミスが起きたということは、ミスを防ぐ仕組みが不十分だったということだと考えて欲しい。ミスとその改善策の履歴を残しておくことで、同じミスの再発防止をすることが大切だと考えている。

(3) 電気料金高騰に係る対応について（総務部）

- 新電力の供給事業者の経営難などから、他自治体では当初の契約料金では電気が供給できなくなったり、契約自体を解除することになったりというような状況が起きています。
- 本市においても、本庁舎などで新電力供給事業者と契約をしておりますが、契約事業者より金額見直しの申し出がありました。既に通知しておりますが、約25%の引き上げで再契約せざるを得ない状況です。
- 現契約期間は9月までですが、10月以降について現在の金額水準で契約できるという事業者は無く、金額見直しを行わない場合は、更に高額となる最終保障金額にて関西電力からの電力を確保しなくてはなりません。
- 9月補正も視野に、必要な予算を確保する必要がありますので、各所管の電気契約状況のご確認をお願いします。

(4) 令和4年度政策形成スケジュールについて（総合政策部）

- 資料3-1「令和5年度に向けた政策形成スケジュール（実施計画・予算・行革）」について、本年は市長・市議会議員選挙が行われるため、議会日程等が例年より前倒しとなっています。具体的には、決算委員会の前倒しに伴って、決算成果報告書の作成時期を早めています。また、実施計画採択の内示時期を11月中旬の予定としています。
- 加えて、補助金や団体事務局の見直しなどの行革にも取り組んでいただく必要があります。補助金の見直しについては、6月に事業奨励型移行への見直し案の作成依頼を行う予定としています。その後、実施計画の協議と同時期に市長協議、内示を行います。
- また、今年度は予算計画書の提出を2回に分けて行います。9月から10月に、1次要求として義務的経費・経常経費、選挙後に2次要求として、実施計画案件や、マニフェスト案件、行革案件の予算計画を提出していただきます。

- 資料 3-2「令和 5 年度に向けた政策形成スケジュール（総計・参画）」については、6 月から総合計画策定のキックオフとして、各小学校区でタウンミーティングを実施していきたくと考えています。
- その後、市民会議などの取組みを行い、市民意見を取り入れながら、令和 5 年夏に基本計画・戦略（原案）の策定。パブリックコメントを経て、同年 12 月議会での基本構想の議決をめざし、進めていきたくと考えています。
- 各部へ影響があると想定している事項は、各年度スケジュール中「各部・課」の項に記載していますので、確認をお願いします。
- また、第 5 次総合計画の中でも地域別構想という位置づけでコミュニティ毎の地域のありたい姿をまとめていただきましたが、第 6 次総合計画についても策定を予定しています。ただし、地域別構想については各地域が主体的に作成される構想です。6 月頃から各地域でアンケート調査を実施し、その内容を踏まえて各コミュニティの方で、改定の規模については判断していただきたくと考えています。

（5）ICT 化に向けた業務情報調査の試行実施について（総合政策部）

- （株）ガバメイツ（コニカミノルタ（株）の関連会社）が兵庫県との連携協定に基づき業務情報調査を実施します。業務量や流れを把握するための取組を兵庫県で試行実施するにあたり、県下市町も手上げ方式で業務量やフローを調査・把握し、分析できます。
- 分析により、業務の手順や構造を整理でき、委託化や外部人材の投入も検討できるようになると考えています。
- ただ、時間的な制約があり、6 月中に業務量調査・整理を行う必要があります。
- ICT 化できる可能性があるものについては ICT 推進課が間に入りながら、できることやコスト面も含めて伴走型で進めていきたくと考えています。なお、他の自治体の AI や RPA の導入事例を示すことも可能です。
- 今回は手上げ方式で依頼をしています。5 月 25 日までに企画財政課へメールで連絡してください。

【市長】いずれは全ての部署で ICT 化することがベースであると考えている。本格的に導入する時はお金をかけて入力・分析の手間も省いていきたい。どこまで効果があるのかはわからないが、今はまず協力してもらえるところを探している状態。数年の間には全ての部署で、1 回は作業してもらわないといけない。

（6）第 5 次川西市環境率先行動計画における紙の削減目標について（市民環境部）

- 令和 3 年度の実績値は 338 万 7375 枚でした。令和元年度実績が 440 万枚で、令和元年度比で 23%の削減ができました。令和 6 年度の目標値は 308 万枚としており、会議のペーパーレス化が進んでいるため更に削減できるものと考えています。今後は 3 か月毎に報告します。

(7) 令和4年度川西市桃の即売会開催について (市民環境部)

- 新型コロナの影響から令和2、3年度に実施ができていなかった桃の即売会を川西農業振興研究会の主催で開催いたします。令和4年6月22日(水)の10時~正午の開催し、700箱程度を用意する予定です。

(8) その他

○非課税世帯への10万円給付、特別給付金について (福祉部、総合政策部)

窓口として201会議室を7~9月の間使用します。また、他部署からの応援をお願いすることもあると思いますので、よろしく申し上げます。

○ウクライナからの避難民について (総合政策部)

既に兵庫県に数十名が来日されており、本市でも6月中旬に4名(川西在住者の親族)を予定しています。文化・観光・スポーツ課に窓口になっていただき、対応窓口を一元化する予定です。それぞれの問題については、その方々の意向などを確認したうえで各課での対応をお願いします。

○2月17日からの取水制限について (上下水道局)

貯水率は45%まで回復。今後も降雨が見込めるため5月23日(月)の10時より取水制限解除予定です。また同日で渇水対策本部も解散する予定です。

* 次回部長会議予定 令和4年6月22日(水) 午後1時~